

【JPCA Show 2026 出展】ものづくりの街・東大阪の三喜製作所、精密電子機器の組立を革新する「M2 極小ねじ×ノンドロップドライバー」のトータルソリューションを展示！

～「極小ねじ」と「落とさないねじ回し」を国内自社一貫製作、微細アセンブリの課題を解消～

精密微細加工・六角穴加工を手掛ける有限会社 三喜製作所（本社：大阪府東大阪市、代表取締役：三宅喜夫）は、2026年4月に創業70周年の節目を迎えました。今回は2026年6月に東京ビッグサイトで開催される「電子機器トータルソリューション展（JPCA Show 2026）」に出展いたします。ブースでは、ドローン、医療機器、スマートフォンなどの高密度基板・精密電子機器の組み立てプロセスで発生する「微細ねじの脱落・紛失」という現場の課題を劇的に解決する、M2サイズからの「極小ねじ」と、独自のテーパー加工による「ねじを落とさない極細ドライバー」の嵌合（かんごう）ソリューションを実物展示いたします。

■ 本件のポイント

1. 「ねじ」と「ドライバー」を両方自社で作るからこそ実現した『完璧な嵌合』

一般的な微細アセンブリでは、ねじと工具を別々のメーカーから調達するため微小な寸法のズレから現場での「ねじの脱落」が発生しがちです。三喜製作所では、ねじとドライバーの両方を国内自社工場で一貫製作。相互の寸法を極限まで最適化することで、驚異的な保持力を実現しました。

2. 磁力に頼らない、独自の「テーパー（先細り）加工」メカニズム

ドライバーの先端（六角部）にわずかな傾斜（テーパー）を設けることで、ねじの六角穴にしっかりとウェッジ（くさび）が効き、磁力を使わずにねじを強固にホールドします。磁気を嫌う精密電子部品やセンサー周辺の組み立てにも安心してご使用いただけます。

3. 現場に合わせた柔軟なカスタマイズ

作業環境や自動化ライン、作業者のエルゴノミクス（人間工学）に合わせ、ドライバーの全体の長さ、軸の太さ、持ち手（グリップ）の形状などを自由に調整・提案可能です。

■ 展示会出展概要

- ・展示会名：JPCA Show 2026（電子機器トータルソリューション展）
- ・会期：2026年6月10日～12日
- ・会場：東京ビッグサイト 東1ホール 1B-36
- ・みどころ：会場では、実際にM2サイズの極小六角穴付止ねじと、専用ノンドロップドライバーを用いた「驚くほど落ちない」嵌合のデモンストレーションを体験いただけます。技術スタッフがその場でカスタム形状や素材（ステンレス、チタン等）に関するご相談を承ります。

■ 会社概要・お問い合わせ先

会社名：有限会社 三喜製作所（代表取締役：三宅喜夫）

所在地：〒577-0836 大阪府東大阪市澁川町1丁目10-18

URL：<https://sankiseisakusho.jp/>

NEW-URL：<https://rokkakuana.com>

TEL：06-6727-4153 / FAX：06-6729-0350 E-mail：sanki123@sankiseisakusho.jp（担当：三宅）